

## 住民が誇れる浪江町の環境回復のための4項目提案

### (1) 3つのステップを平行してすすめる

浪江町は、海、大地、森林、河川の実りに恵まれた、住民が誇れる事故前の地産地消の美しい環境の回復をめざします。事故後、時間がたつにつれ、家屋や田畑の損壊もすすみ、環境回復の作業をしっかりとすすめることも大事になっています。そこで、次の3つのステップでの環境回復を考えます。

第一のステップ 除染が進捗し線量が低くなった地域では希望する住民が帰還して環境回復を進めます。

第二のステップ 浪江町民の生活に必須の主要な道路、大柿ダムなどの水源地区など、生活に影響の大きい地域についての除染を加速化します。

第三のステップ 線量の高い森林地域について、数十年の長期的視野での環境回復の計画の立案、実証作業を進めます。

これらの作業は分離できず、つねに平行してすすめることとします。海岸地帯の線量の低い地域の住民が帰還して環境回復をすすめるには、上流の水源の環境の回復が進展することが「住民が誇れる浪江町」の環境に必須だからです。

### (2) 線量の比較的低い地域の環境回復への住民の参加のための4条件

住民が環境回復の参加するためには、次の4つの課題があります。

1. 空間線量が基本的に低下し、さらに残る線量の高いポイントについても追加の除染を行う仕組みが整備されていること。
2. 生活のインフラである交通、教育、福祉、医療、農林水産業、商工業のインフラが整備され、住民の要望に応じて安全、安心のための対策がとられるきめ細かな仕組みが作られること。
3. こどもが安心して食べられる地産地消、飲む水源が確保されえていること。食品についての検査の体制を徹底的に整備し、農林水産業の基盤となる田畑、河川、ため池などの除染を進めます。
4. 放射線汚染廃棄物の保管体制を整備し、住民がチェックできる体制の上で、

リサイクルの仕組みを整備します。

(3) 線量の低い地域を取り囲む道路、河川、生活圏の環境の回復を加速化します。ロードマップを明確にし、飲用水と、農業用水、産業用水について水源での24時間モニタリングの体制を整備します。この地域の除染の加速化を国と東電に要求します。

(4) 線量の高い森林地域の林業再生を通じた長期的な環境回復のつき実情調査と計画立案、実証作業を住民参加ですすすめます。